

【告白:confession】

告白とは自分の思いを相手に伝えること。これが基本であるかと思います。そして、何を相手に伝えるかが問題となります。その前に、対象である相手と自分がどういう関係であるかを考えなければなりません。何でもかんでも告白すればよいというものではありません。告白する相手を間違っただけではいけません。一般の人は、聖書でいう告白は「罪の告白」と考えるのではないのでしょうか。そしてある教会では、信者が司祭に罪を告白して許しを受ける行為がなされます。しかし、告白は司祭にすることではなく、神に対してすることです。聖書では告白することについていくつか出てきます。罪もそうですが、違う言葉で罪と同じような意味の咎という言葉もあります。また、「罪の告白」と同じくらいに重要なことは「イエスはキリストである」、また「イエスは主である」と告白することです。

旧約聖書のことばで、告白は、「罪の告白」と同時に「神に対する感謝」の意味もあります。Ⅱサムエル記 22 章 50 節『それゆえ、主よ、私は国々の間であなたをほめたたえます。あなたの御名をほめ歌います。』【Therefore I will give thanks to You, O Lord, among the Gentiles, And sing praises to Your name.】ほめたたえたと訳されていますが、告白して罪が許され、喜びと感謝に満たされ、その結果として、賛美の言葉が生まれます。新約聖書で最初に出てくる箇所は、マタイの福音書 3 章 5~6 節『5 そのころ、エルサレム、ユダヤ全土、ヨルダン川周辺のすべての地域から、人々がヨハネのもとにやって来て、6 自分の罪を告白し、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けていた。』【5 Then Jerusalem, all Judea, and all the region around the Jordan went out to him 6 and were baptized by him in the Jordan, confessing their sins.】人はバプテスマを受ける前に、罪の告白をします。また、旧約聖書には出てこないが、「イエスはキリストである」と告白する事については、ヨハネの福音書 9 章 22 節『彼の両親がこう言ったのは、ユダヤ人たちが恐れたからであった。すでにユダヤ人たちは、イエスをキリストであると告白する者がいれば、会堂から追放すると決めていた。』【His parents said these things because they feared the Jews, for the Jews had agreed already that if anyone confessed that He was Christ, he would be put out of the synagogue.】当時、ユダヤ人が「イエスはキリストである」と告白することは、命がけでありました。今現在も、ユダヤ人が「イエスはキリストである」と告白する者は、勘当という言葉がありますが、その者は家族から縁を切られます。私たちは単にイエス・キリストといますが、キリストとはメシヤのことであり、救世主を意味します。ユダヤ人はイエスをキリストとは認めていません。そして今もメシヤの到来を待ち望んでいます。まだ来ていないと信じています。しかし、もうすでにイエスという名で天から下って来ました。ユダヤ人がメシヤに期待していたのは、神の祝福で、地上にあってすべての敵を滅ぼし、神がアブラハムに約束された「産めよ増えよ地に満ちよ」と言われた神のことばの実現です。しかし、イエス・キリストには、そのような兆候は認められませんでした。かえって、ユダヤ人の生活そのものを批判し、悔い改めるように説きました。悔い改めとは、今までの生き方を変えることです。考え方を変えることです。

告白とは相手に自分の思いを伝えることと書きましたが、今までの文意から相手とは神に他なりません。ヨハネの福音書 4 章 24 節『神は霊ですから、神を礼拝する人は、御霊と真理によって礼拝しなければなりません。』【God is Spirit, and those who worship Him must worship in spirit and truth.】神は霊ですから、人の目には見えません。どこにいるのかもわかりません。思いを伝える方法は祈りです。そして、人はいつでも、どこにいても、祈ることができます。マタイの福音書 6 章 6 節『あなたが祈るときは、家の奥の自分の部屋に入りなさい。そして戸を閉めて、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたところで見られるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。』【But you, when you pray, go into your room, and when you have shut your door, pray to your Father who is in the secret place; and your Father who sees in secret will reward you openly.】祈りは神と私との一対一の関係です。他の者が入る余地はありません。ある教会で行っているように、信者が司祭に罪を告白することは、聖書には書かれてありません。旧約聖書では、神はユダヤ民族に対して予言されていますが、ひとりひとりを見ておられます。詩編 4 章 3 節『知れ。主はご自分の聖徒を特別に扱われるのだ。私が呼ぶとき 主は聞いてくださる。』【But know that the Lord has set apart for Himself him who is godly; The Lord will hear when I call to Him.】ご自分の聖徒で、民族ではありません。神はひとりひとりに対して語っておられます。そして、奥まった自分の部屋で祈るようにイエス・キリストは言われます。